



地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト

【佐倉河地区の農用地等面積】 821.9 ha

うち 【田】 756.9 ha 【畑】 64.7 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 756.7 ha)

- 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 30.0ha
- 佐倉河地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 179.3 ha
- 主な生産品目：水稲、大豆、ピーマン、りんご(令和 8 年 2 月 27 日現在)

地域農業の課題

1 基盤整備未実施エリアの課題

- └ 小区画圃場が多く、効率化できない(佐野、十文字、松堂)
- └ 貸し手・借り手がいない(佐野、十文字)
- └ 基盤整備事業から外れた地域は高価な機械依存(松堂)

2 市街化と住宅地域の影響

- └ 市街化の中に残された中途半端な農業(館 6 区)

3 歴史的背景・物理的制約

- └ 史跡があり基盤整備不可(八幡)

4 担い手不足・高齢化

- └ 高齢者多い・後継者不在(満倉 1~6 区、6 区、佐野、仙人、十文字、松堂)
- └ 委託も担い手が一杯 or 依頼先がない(八幡、十文字)

5 作業負担の増大

- └ 草刈り等維持作業の人手不足(満倉 3 区、八幡、谷地、松堂)

6 経営環境の悪化

- └ 農機、肥料等のコスト上昇→採算悪化(八幡、十文字、松堂、満倉 5 区)
- └ 米価下落による全戸赤字経営(宮田)
- └ 将来の機械購入困難への懸念(満倉 5 区)

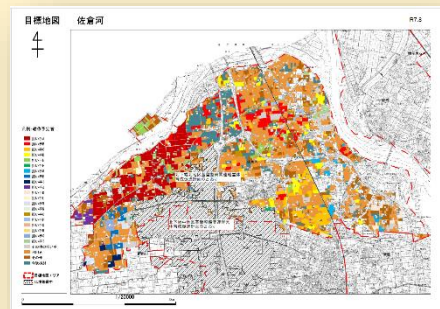
7 離農・耕作放棄の拡大

- └ 圃場整備未実施地区を中心に耕作放棄地増加

8 水利・土地利用の制約

- └ 胆沢城跡区域により売買・土地利用も難(八幡)

佐倉河地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事がありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

- **1 基盤整備と集積化**
 - 基盤整備エリアで営農組織等へ農地集積・集約（満倉 2 区、4 区、6 区、八幡、谷地）
 - 非整備エリアは現状維持・保全管理（松堂）
- **2 農地利用の効率化**
 - 組織的な共同活動（草刈り・水路維持等）（6 区、八幡、仙人）
 - 小規模農家もできる作業分担で効率化
- **3 担い手確保・育成**
 - 担い手育成、借手探し（佐野）
 - 関連機関と連携し経営体育成（満倉 2 区、3 区、八幡、谷地）
- **4 作目の多様化**
 - 水稻・大豆等基幹作物に加えピーマン・りんごなど高収益作物へ（満倉 2,3,6 区）
 - 機械依存が少ないピーマン等の作付推進（満倉 5 区）
- **5 技術・経営安定化**
 - 冬場も安定収入可能な組織経営化（満倉 4 区）
 - ドローンなどスマート農業導入（満倉 4 区、5 区）
- **6 多面的機能保全活動**
 - 住民・担い手共同で農用地・水路等の定期的維持管理（6 区、八幡、谷地、十文字、仙人、松堂）
- **7 農地中間管理機構等の活用**
 - 離農・高齢化時に機構を通じて担い手へ農地集積

このダイジェスト版を「地域の話合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記 QR コードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室（TEL 0197-34-2371）

